太平洋コース　１Ｈ

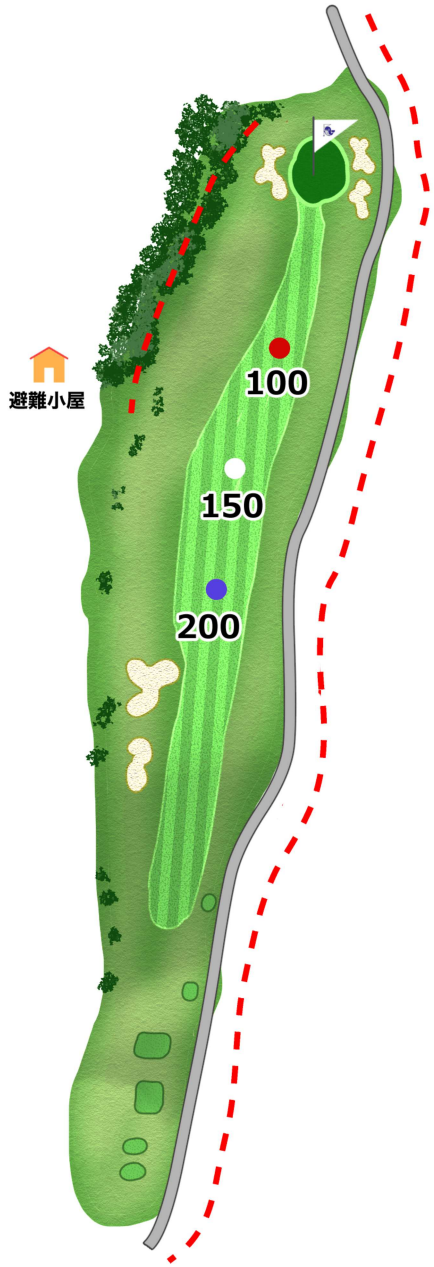
PAR 5 HDCP 8
BT 570 RT 530 FT 495 LT 460

コース戦略

ティーグラウンドからグリーンまでストレートのロングホール。見通しが良く、プレッシャーは受けにくいが、左サイドの2つ目のバンカーは土手が高く、入れるとショートアイアンでのレイアップをお薦めする。風が吹き抜けるホールなので、風に乗せるか低く打つか決めて攻めたい。

グリーン

奥行きが36ヤードある受けグリーン。左奥にマウンドがありピンが左サイドにあるときは手前から攻めたい。



太平洋コース　２Ｈ

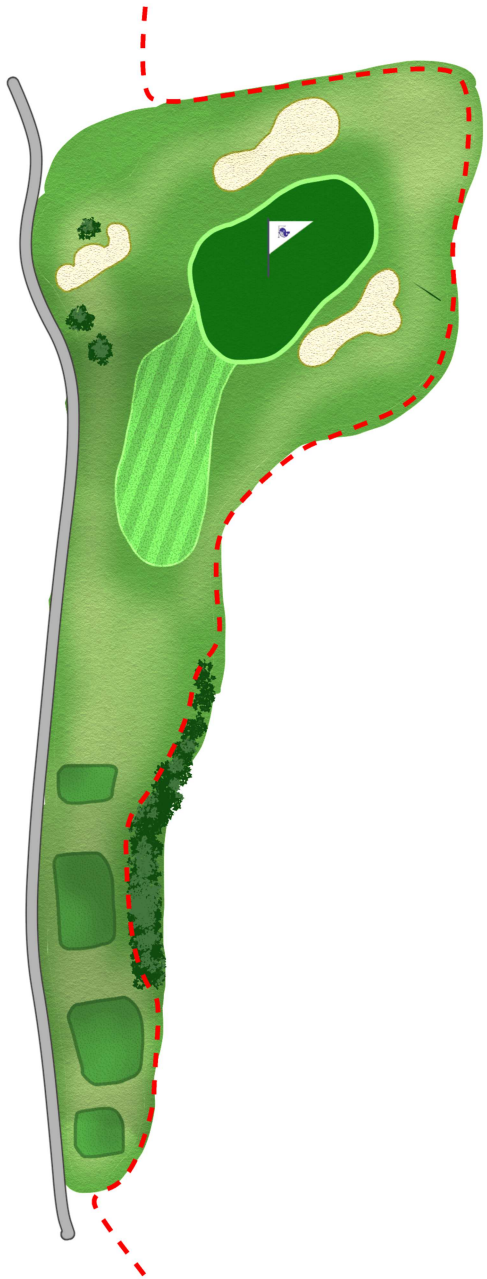
PAR 3 HDCP 6
BT 205 RT 185 FT 155 LT 125

コース戦略

少し打ち下ろしのショートホール。グリーンは二段になっていて、右の上段にピンがあるときは乗せるだけでも難しい。グリーン奥のバンカーからは下りになっており、技術が試される。

グリーン

センター付近から三日月形に二段になっている。左の下段は受けており、手前から攻めると攻略しやすい。右の上段は傾斜は少なく全体的に曲がりは少ない。



太平洋コース　３Ｈ

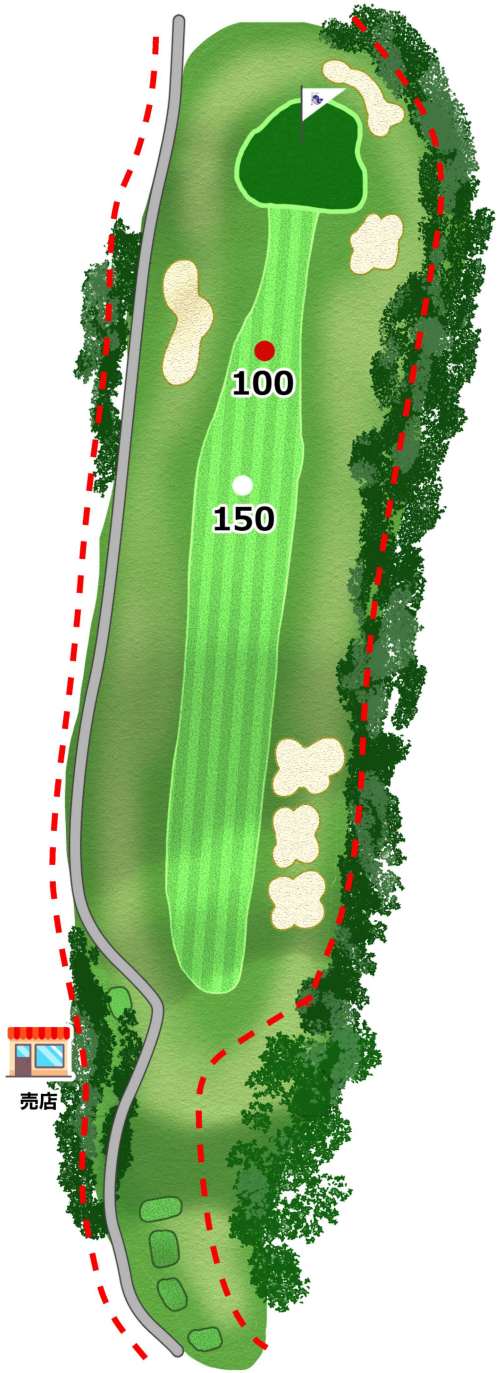
PAR 4 HDCP 3
BT 440 RT 415 FT 385 LT 260

コース戦略

右サイドに三連バンカーがあるため、ティーショットにプレッシャーがかかるミドルホール。左サイドにコントロールショットが望ましい。第2打地点はフラットだがグリーン面が見えないので距離を合わせづらい。

グリーン

手前が下っているためボールが止まりにくい。左サイドには手前から奥に向かって尾根があり、傾斜がかかるラインは非常に読みにくいのでグリーンセンターから攻めたい。



太平洋コース　４Ｈ

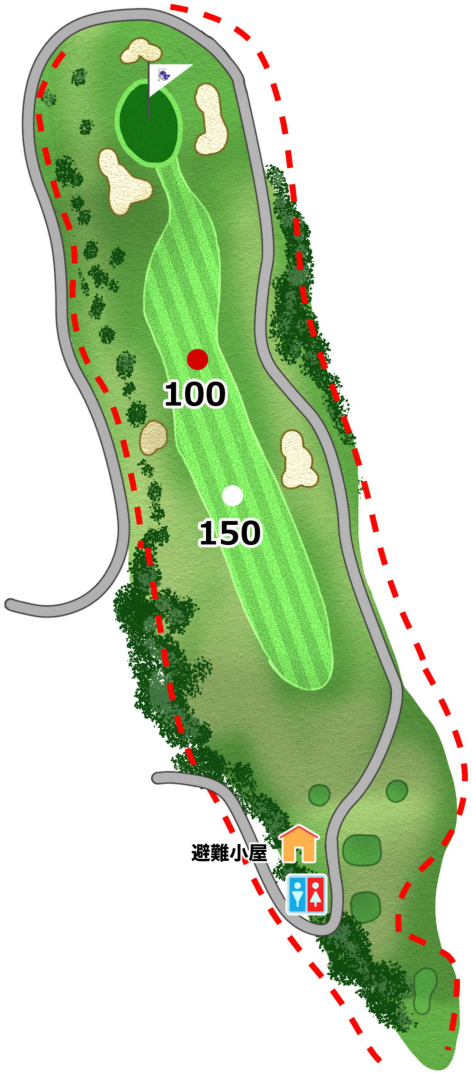
PAR 4 HDCP 7
BT 420 RT 360 FT 325 LT 310

コース戦略

太平洋を一望できるミドルホール。最も海に近く、美しい景色だが風の影響を受けるホールでもある。しかし、あまり距離はなくティーグラウンドからグリーンまでなだらかに下っているため低いボールが効果的である。

グリーン

全体的に左から右へと傾斜しているが見た目では感じにくい、ピンより右サイドに乗せておきたい。



太平洋コース　５Ｈ

PAR 3 HDCP 9
BT 175 RT 160 FT 140 LT 115

コース戦略

ティーグラウンド前の大きな池とバンカーが視界に入るが距離が短いのでグリーンセンターを狙っていけばパーは取りやすい。ただティーグラウンドでは風を感じにくく、高い球を打つと風に落とされやすいので注意。

グリーン

全体的に受けグリーンで右サイドは手前から奥へ尾根がある。ピンより奥からのラインは読みにくく、距離を合わせることに徹したい。

太平洋コース　６Ｈ

PAR 4 HDCP 2
BT 395 RT 370 FT 340 LT 310

コース戦略

やや打ち上げのミドルホール。第1打目はフェアウェイが左から右へ傾斜しているので、左サイドのバンカーの右を狙っていきたい。第2打目がつま先下がり（レフティーはつま先上がり）になり右へ飛びやすくグリーン右のバンカーに入れないよう注意して欲しい。

グリーン

大きな傾斜はないように見えるが奥から手前へ全体的に下っている。カップに対して左右のラインは見た目以上に曲がる。

太平洋コース　７Ｈ

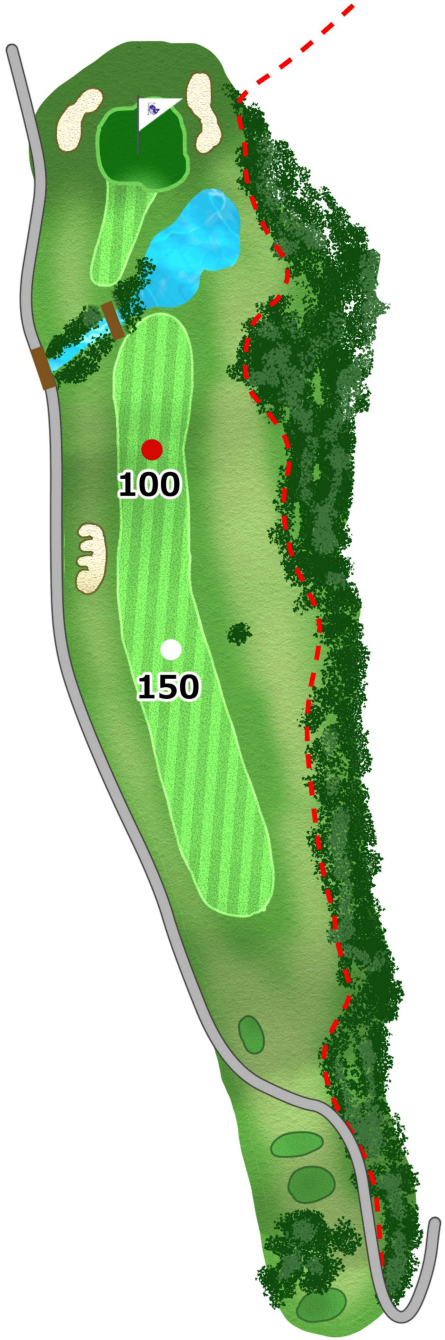
PAR 4 HDCP 4
BT 470 RT 405 FT 385 LT 340

コース戦略

数々のトラップがあり、プレーヤーの技術やマネージメントが必要となるミドルホール。フェアウェイが右から左へ傾斜しているため、第1打はフェアウェイの右サイド狙い。右の斜面にボールが止まった場合は、池の手前へレイアップした方が無難。グリーンはボールが止めにくく、奥へこぼれやすい。グリーン左手前からアプローチ勝負という選択肢も良いかもしれない。

グリーン

ボールが止まりにくく、手前から奥へのアプローチやパッティングは注意が必要。左右、奥にマウンドがあり、それらを繋げるように小さな尾根がある。



太平洋コース　８Ｈ

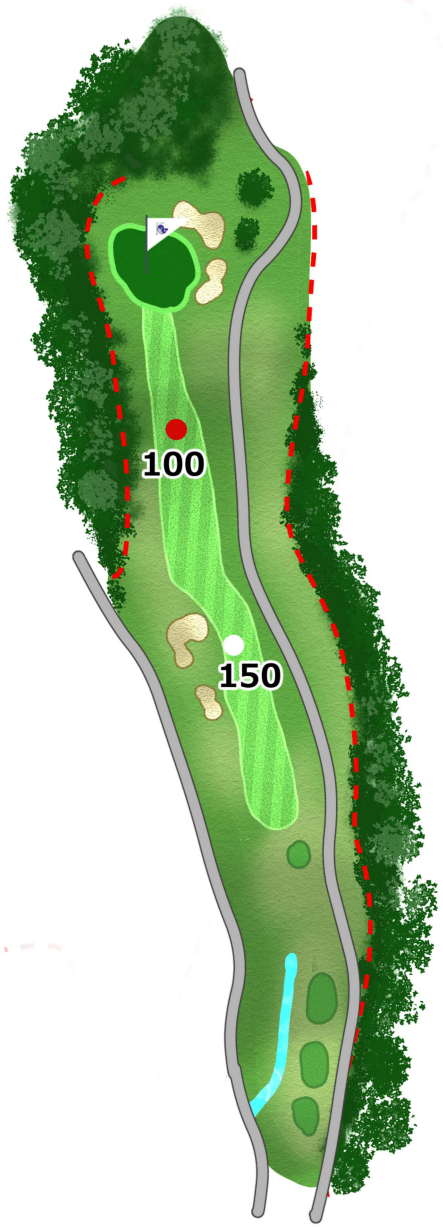
PAR 4 HDCP 1
BT 420 RT 385 FT 350 LT 290

コース戦略

ティーショットのねらい目は左サイドのバンカーの右側。左サイドの二連バンカーは絶対に避けておきたい。2打目以降はかなり打ち上げになり、距離のジャッジが難しい。

グリーン

左奥から右手前へ全体的に傾斜がある。ピンより奥につけると距離も合わせづらく、ラインも複雑なので手前から攻めたい。

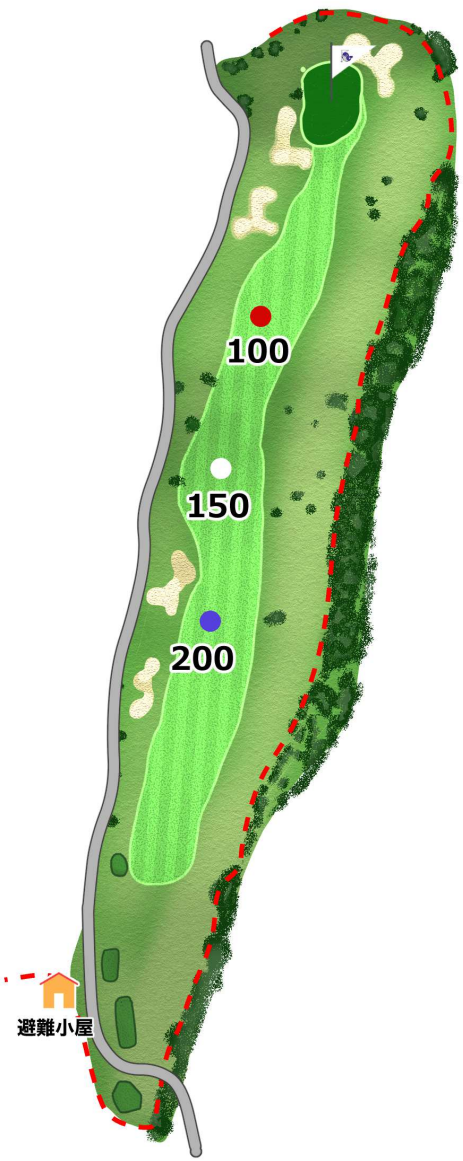


太平洋コース　９Ｈ

PAR 5 HDCP 5
BT 530 RT 490 FT 455 LT 400

コース戦略

ストレートのロングホールでロングヒッターなら2オンも可能なホール。しかしティーショットで左サイド2つ目のバンカーに入れると土手が高くレイアップを余儀なくされる。3打目勝負を挑まれるプレーヤーも残り50ヤード地点にある左サイドのバンカーだけは避けたい。

グリーン

グリーンセンターラインに手前から奥まで左右に二分するかの様に尾根がある。ピンサイドに乗せなければ1パットは難しい。